

【課題】まわる

1. イメージの決定：言葉からの連想

「まわる」

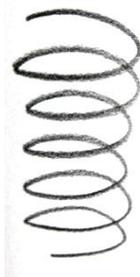


「回転」



永続性(時間)

「旋回/螺旋」



永続性+空間性

鳥の
旋回のイメージ



2. 厚紙による模型作り

(1) 組み合わせ方

まず強度を考え、立体パズルのように切り込みをいれ、組み合わせしていく方法で試作した。



①原形をつくる。



②同じ形のパーツをいくつかつくる。



③翼や尾などに切り込みを入れ、組み合わせる。



④螺旋になるよう、繋げていく。



【考察】

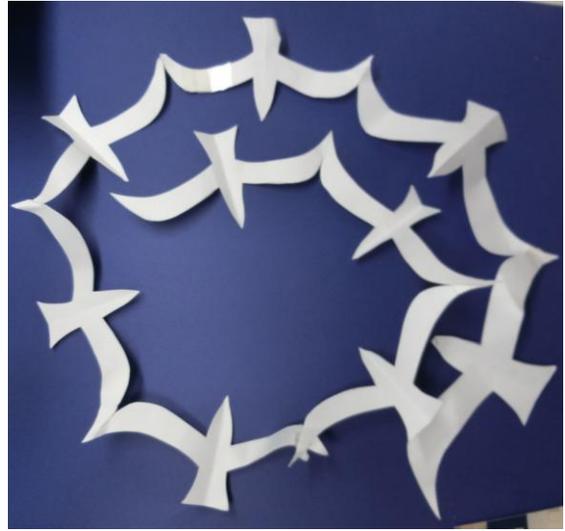
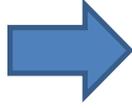
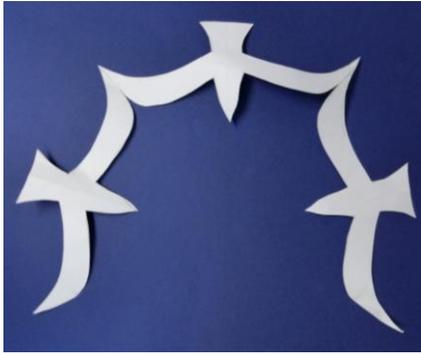
・大小混ぜるよりも、それぞれで固めた方が全体にまとまりがあって良い。

・紙では重さが支えきれず、吊り下げた祭にまっすぐに伸びてしまう⇒実材にするときには堅い素材にすること。

・切り込みだけで繋げるのは強度の面で難しい。あまり深く切り込みすぎると、モチーフ同士が重なりすぎる。

・ごちゃごちゃとしていて全体でみたときに鳥だと分かりにくい。

⇒繋げ方を改良



①原型から形を書き写す時に翼の端を重ね、パーツに分けず、繋がった状態で切り抜いてく。

②図が重ならないように繋げながら下図を書き、切り抜く。

【考察】

- ・材料が無駄にならないように型紙をきちんと作る。
- ・吊り下げて螺旋にするには、やはり強度が問題。しかし重みに耐えられる材料にすると加工が難しい。
⇒吊り下げる支点を複数にする。
- ・パーツが重ならないので、パーツの形の洗練。また、シンプルすぎるので、大きさの工夫が必要。



(2) パーツの形

原形の改良

①



翼が大きく、重なりすぎて、ひとつひとつの形が不明瞭に。



②



翼を細く。尾が太い。



③



翼を曲線的に。胴体が細すぎた。

④



横から見たときの形を意識して改良。尾の先をV字に。



最終

3. 完成イメージ

8月中には完成させます・・・。